

# 「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 樋野 巧

日時	2022 年 11 月 30 日 (水) 10 時 00 分 ~ 15 時 00 分	天候	曇晴れ	コース名： 第 35 回よりみちクラブ
案内団体 又は催事 名	平城京の南辺と稗田阿礼ゆかりの地を巡る	人数	大人：26 名	

集 合：近鉄橿原線・九条駅 10 時

ガイド： 山下 裕章さん

行 程：近鉄九条駅～西市跡・西市船着き場跡～富本銭出土地～郡山城外堀～観世音寺跡～羅城門跡

～来世墓地～枳殻地蔵尊～埋墓～稗田環濠集落～下ツ道～賣太神社～町家物語館～近鉄郡山駅

参加者：山下・久賀田・玉尾洋・神田・寺尾・山田勝・山岡・服部・義田・宇野・北川・中谷・山本・福島・  
武田・村上・澤井・田中・森・橋本・豊田・米村・玉尾ひ・上森・嶋村・樋野 26 名

10 時 九条駅広場・案内板前でコース概要説明。駅広場は西市の西の端にあたる。

10：10 平城京西市跡(西市の東端)：開市は月前半が東市 月後半が西市。市は正午から日没まで開かれ、日用品、食料品、衣料品が売られた。(※市井の庶民に貨幣は流通していたのか)  
役人は 支給された現物を販売し、必要なものを買っていた。貨幣が流通し始めていた…  
西市船着場跡：秋篠川・西の堀川

10：20 明治天皇駐輦蹟 (「輦」は天子の乗る車) 天子が、行幸の途中で車をとめること。また、行幸先に滞在すること。

10：25 富本銭出土地 出土した場所は 平城京右京八条一坊 十三・十四坪 (\*周辺は少初位の官吏が住んでいた 少初位(しょうしゅい)とは、日本の位階における位の一つ。大初位の下、最も低い位階)  
清掃センター建設時の発掘 調査で奈良時代の鋳造工房や漆工房などが確認されている。我が国最古の銅銭である銚帯金具富本銭が、初めて発掘調査によって出土した場所

10：40 郡山城外堀(桃山時代) 旧秋篠川付け替え外堀とした。

10：50 観世音寺跡 遣唐留学僧が建立した寺。今は八幡宮となり観音堂のみが残っている。

10：55 ハローワーク大和郡山 (トイレ休憩)

11：10 羅城門跡 羅城門跡は佐保川の河川敷下に埋没しているが、発掘調査で基壇の一部と朱雀大路の西側溝が確認された。橋の上からは真北に遠く復元された朱雀門が望める。  
来世墓地 羅城門外の南にある。もとは来生墓。結界の鳥居が2基ある。

11：30 枳殻地蔵尊 行基が船着き場・下ツ道から奈良・矢田寺への道しるべとした と言い伝え。カラタチが植栽されていることから枳殻と呼ばれた。

11：45 埋墓 稗田集落の両墓制(埋める墓(埋め墓)とお参り用の墓がある)  
昭和30年頃まで12歳以上を土葬したという。江戸時代以降 今の形となった。

11：55 稗田橋 大師橋(地藏院川)

12：00 稗田集落入り口 飛鳥時代からの集落。集落内は迷路。中世は京都仁和寺の支配下。環濠は鎌倉・室町時代に外部からの防御用とした。水は、東に2km離れた廣大寺池及び吉野川の水を入れている。

12：30 平和公民館で昼食

13：10 賣太神社 主齊神：稗田阿礼 副齊神：猿田彦命(夫) 天鈿女命(妻)  
稗田は、猿女君稗田氏族の居住地。

14：00 町家物語館 大正13年に建てられた木造三階建ての旧遊郭の見学。

2班に分かれ ボランティアガイドにより 客間、主人居住部屋等の説明を受ける。

\*旧郭の内部見学は初めての経験。住居を兼ねた個室の狭いこと、階によって窓の格子の幅が異なること等 興味深く見学した。

15：10 物語館前にて終礼。次回 よりみちクラブ「1月18日枚方宿」を案内して終了 解散した。

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

- 参加者が思いのほか多く 26 名であった。
- 羅城門跡、西市跡は以前訪れており、参加者の関心は やはり古代から 1300 年以上存続している集落、激動の中世を生き延びた「稗田環濠集落」であったように思う。
- 旧遊郭「町家物語館」は、参加者の多くが初体験らしく 熱心に見学・質問していた。ガイドの方も親しく説明され、和やかで楽しい見学となった。
- 山下さんの説明は、いつも通り詳しく、話題がどんどん広く深くなり、さらに疑問を増やしていく。とても面白く興味深く聞き入っていました。

(特記事項)

特になし

